

経営比較分析表（平成29年度決算）

三重県 こころの医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
1,834,269	20,768	非該当	15:1	

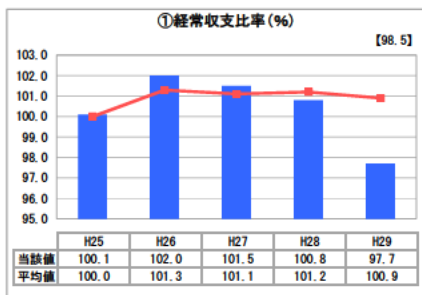
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

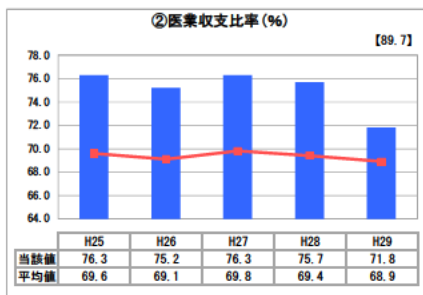
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
348	-	348
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

当該病院値（当該値）	類似病院平均値（平均値）
■	—
[] 平成29年度全国平均	

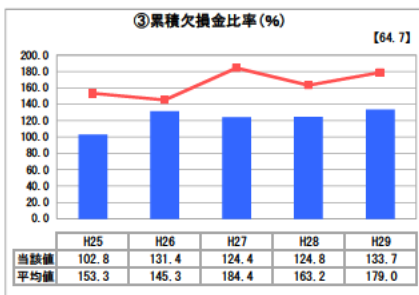
1. 経営の健全性・効率性



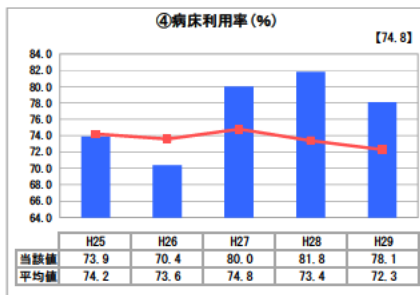
「経常損益」



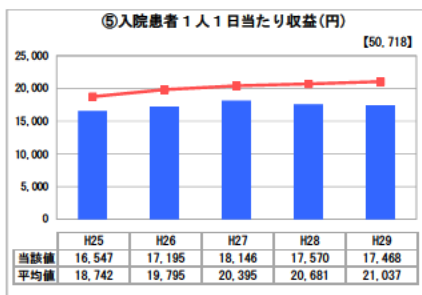
「医業損益」



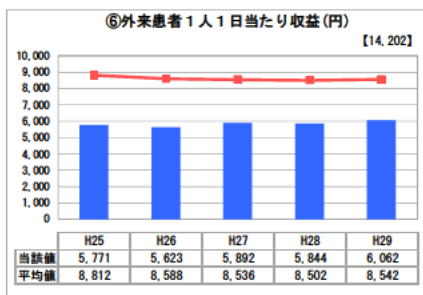
「累積欠損」



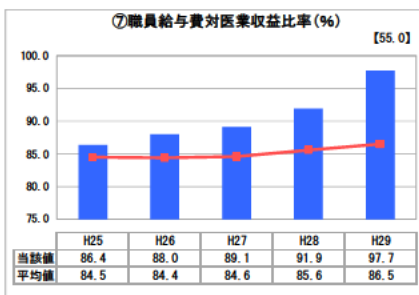
「施設の効率性」



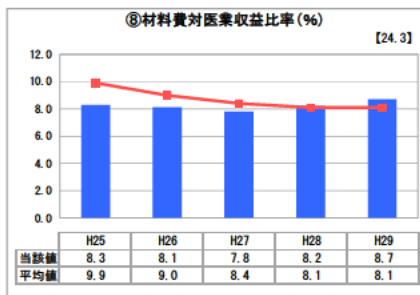
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

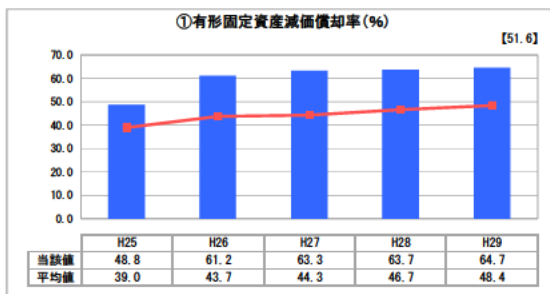


「費用の効率性①」

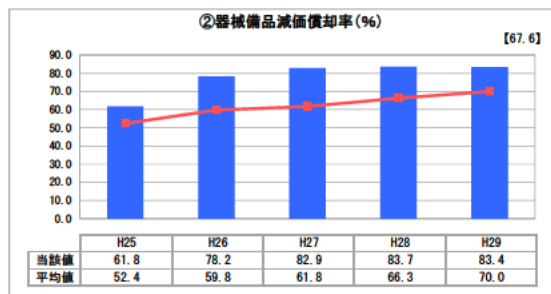


「費用の効率性②」

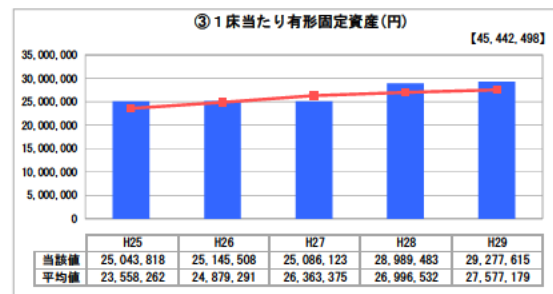
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

・県内の精神科医療における中核病院として、精神科救急・急性期医療等の政策的医療や認知症治療、アルコール依存症治療、精神科早期介入（早期発見・早期支援・早期治療）・早期予防等の専門的医療を提供するとともに、研修医や看護実習生等を積極的に受け入れるなど、県内の精神科医療人材の育成にも貢献している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・医業収支比率は類似病院の平均値を上回っているものの、経常収支比率が100%を下回っていることから、更なる経営の健全化に努める必要がある。
- ・病床利用率は類似病院の平均値を上回っているものの、入院患者及び外来患者ともに1人1日当たり収益が類似病院の平均値より下回っており、病床管理の適正化等により診療単価の最適化を図る必要がある。
- ・職員給与費対医業収益比率は類似病院の平均値を上回っており、時間外勤務の適正管理や看護補助者の採用等労働生産性の向上に努める必要がある。
- ・材料費対医業収益比率は類似病院の平均値に近い数値であるが、引き続き、診療材料等の適正な在庫管理を徹底し、費用の削減に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院の平均値より高く、老朽化が進んでいるため、引き続き、計画的な更新を行う必要がある。
- ・1床当たり有形固定資産は類似病院の平均値に近い数値であるが、引き続き、計画的に投資を行い、適大な投資とならないよう留意していく必要がある。

全体総括

- ・更なる経営の健全化に努め、「入院医療中心から地域生活中心」という精神科医療の方向性をふまえ、県内の精神科医療における中核病院としての役割を担いながら、適切な入院診療機能の確保とともに、外来患者に対する地域生活支援の一層の充実など、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成29年度決算）

三重県 一志病院

法通用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	-	ド訓	救へ
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
1,834,269	6,295	第1種該当	10:1	

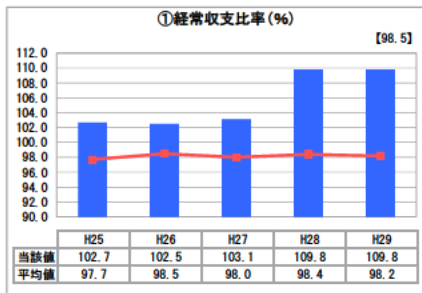
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

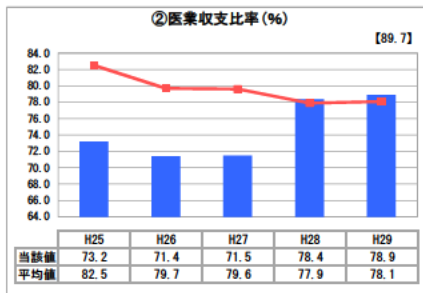
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
46	40	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	86
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
46	-	46

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
[]	平成29年度全国平均

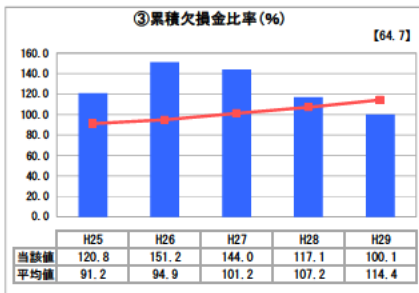
1. 経営の健全性・効率性



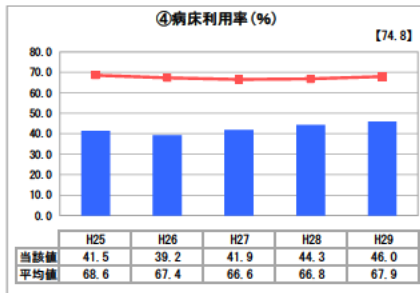
「経常損益」



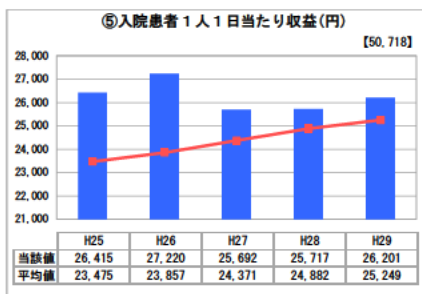
「医業損益」



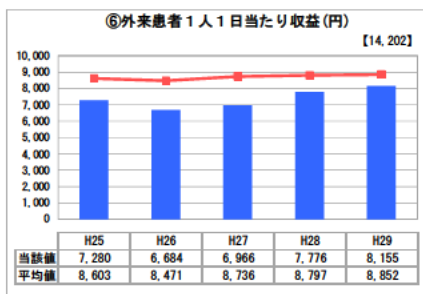
「累積欠損」



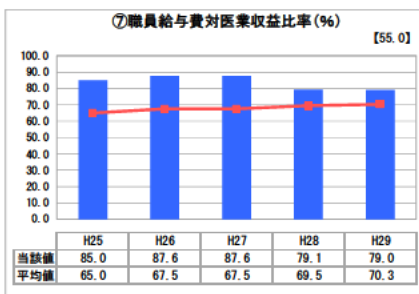
「施設の効率性」



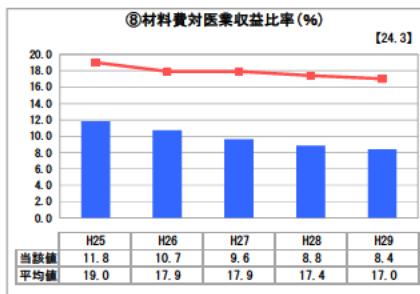
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

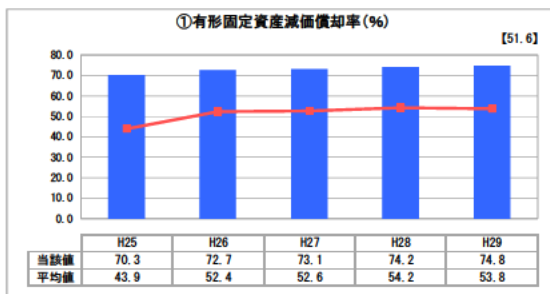


「費用の効率性①」

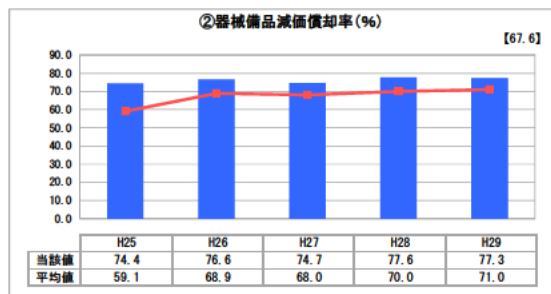


「費用の効率性②」

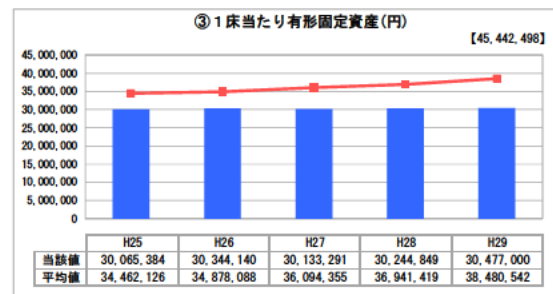
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- 総合診療医を中心としたプライマリ・ケアを実践するとともに、「三重県地域医療再生計画」に位置づけられた総合診療医の育成拠点として、研修医や医学生を受け入れ、県内の医師の人材育成にも貢献している。
- 診療所等の医療資源が十分でない中で、高齢化が進んでいる地域であることから、訪問診療・訪問看護等の在宅療養支援の充実や、地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護・予防等の多職種連携の促進に取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率は100%を超えており、また、医業収支比率も類似病院の平均を上回っていることから、一定の収益性は確保されている。
- 病床利用率は療養病床が休床しているため、類似病院の平均を下回っている。
- 入院患者1人1日当たりの収益は類似病院の平均を上回っているが、外来患者1人1日当たりの収益は下回っているため、さらなる収益確保に取り組む必要がある。
- 職員給与費対医業収益比率は類似病院の平均を上回っており、時間外勤務の適正管理や看護補助者の採用等労働生産性の向上に努める必要がある。
- 材料費対医業収益比率は類似病院の平均を下回っている。引き続き、診療材料等の適正在庫管理を徹底し、費用の低減に努める。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院の平均値より高く、老朽化が進んでいるため、計画的な更新を行っていく必要がある。
- 1床当たり有形固定資産は類似病院の平均を下回っている。引き続き、過大な投資とならないよう留意していく。

全体総括

- 引き続き、経営の健全化に努め、総合診療医やプライマリ・ケアを担う人材の育成に積極的に取り組むとともに、訪問診療・訪問看護等の実施や医療・介護・予防等の多職種による連携会議等の開催など、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成29年度決算）

三重県 志摩病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上~400床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	14	対象	ド透 訓ガ	救臨へ災地輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
1,834,269	26,325	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

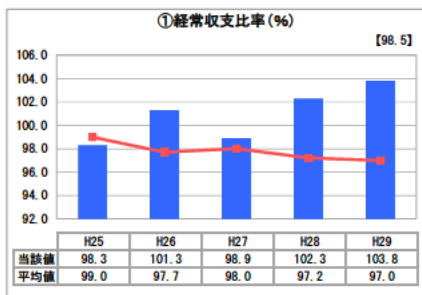
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
236	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
100	-	336
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
236	-	236

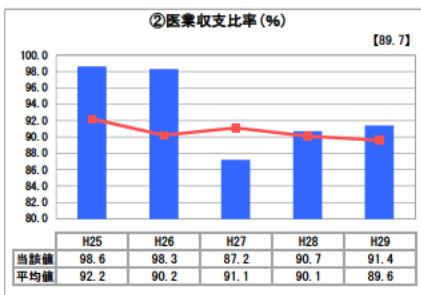
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- [] 平成29年度全国平均

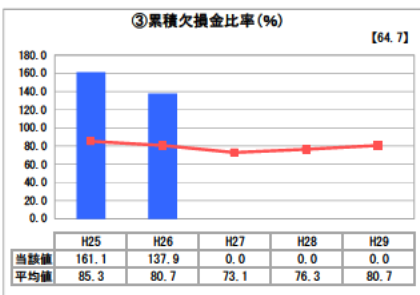
1. 経営の健全性・効率性



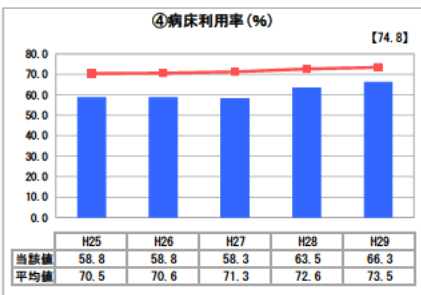
「経常損益」



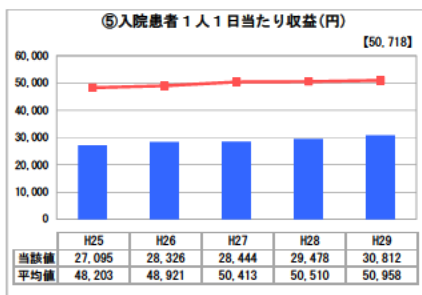
「医業損益」



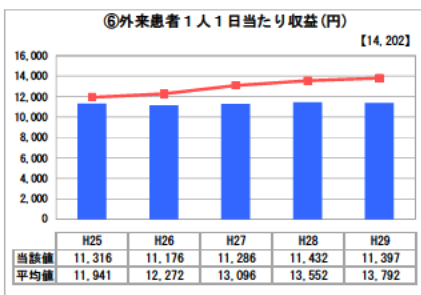
「累積欠損」



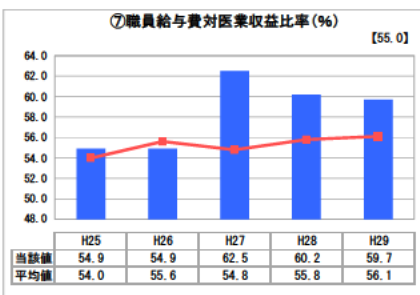
「施設の効率性」



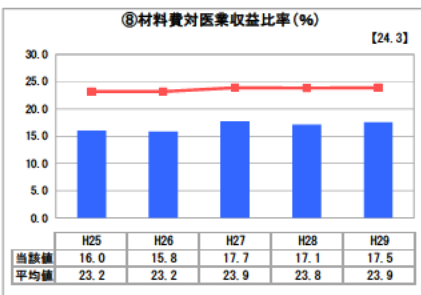
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

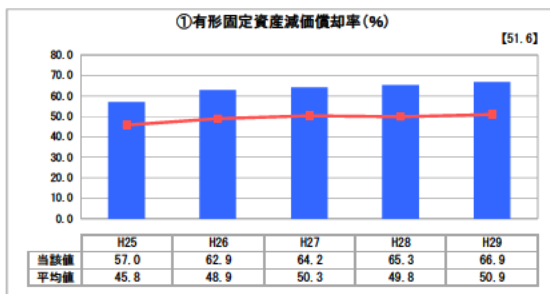


「費用の効率性①」

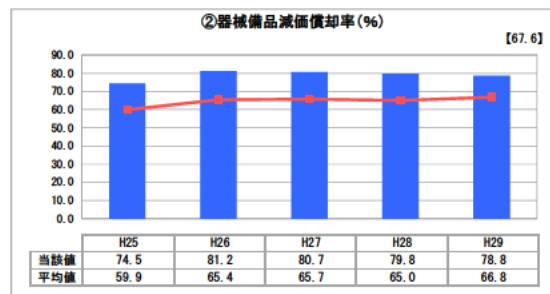


「費用の効率性②」

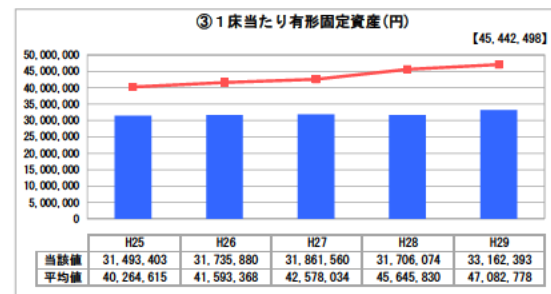
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

志摩地域のの中核病院として、三次救急医療機関等との連携のもと、二次救急医療や災害医療等を担う急性期病院としての役割を担うとともに、回復期機能も併せ持つ病院としての役割も果たしている。
さらに、志摩地域の地域包括ケアシステムの構築に向けてネットワークづくりを推進している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%以上(103.8%)であり、医業収支比率は類似病院平均を上回っていることから、一定の収益性は確保されている。
病床利用率は類似病院平均を下回っているが、患者の高齢化による車イス利用者の増加などにより、1室あたりの病床数を削減した運用などにより、影響を受けている。
1人1日当たりの収益は、入院患者で平成28年度実績を上回り、外来患者で平成28年度実績を下回ったが、両指標とも経年比較で概ね類似病院平均を下回っていることから、今後も考えられる収益確保策に取り組んでいく必要がある。
職員給与費対医業収益比率は、平成28年度実績を下回ったが、類似病院平均を上回っており、人員体制の見直し(退職補充における若年層の積極採用等)等を検討していく必要がある。
材料費対医業収益比率は、類似病院平均を下回っており、引き続き、後発品の積極的な導入等により低減に努めていく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院の平均値より高く、老朽化が進んでいるため、計画的な更新を行っていく必要がある。
1床当たり有形固定資産は類似病院平均を下回っている。引き続き、過大な投資とならないよう留意していく。

全体総括

引き続き、志摩地域のの中核病院としての役割を担っていくよう、常勤医師や看護師等の充実、総合診療医と他の専門医の連携による幅広い疾患への対応、救急医療体制のさらなる拡充、他の急性期病院等との連携強化など、診療機能の回復・充実を図るとともに、一層の収支改善に取り組んでいく。
建物(附属設備を含む)、器械備品の老朽化対策については、過大な投資とならないよう留意しつつ、必要な改修・更新を計画的に実施していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。